

会社概要

- ・法人名称/パシフィコ・エナジー株式会社
- ・設立/2012年9月
- ・本社所在地/〒106-0032 東京都港区六本木1-9-10 アークヒルズ仙石山森タワー33F
Tel: 03-4540-7830 (代表) Fax: 03-6745-9207
- ・代表者/Nate Franklin (ネイト フランクリン)
- ・パシフィコ・エナジー株式会社は、商業用大型太陽光発電所の開発・建設・運営に特化した会社です。
本社は東京にあります。
- ・30MWdcを超える大型の発電所を建設します。
- ・国際的に活躍するエネルギー関連企業で経験を積んだメンバーにより、構成されています。

使命と理念

東日本大震災を経た我が国において、脱原発、化石燃料依存低減、クリーンエネルギーの安定供給に資するため、安全で安心で、かつ安定的な電力である太陽光発電事業の普及を通じ、持続可能な社会の構築に寄与したいと考えております。また、災害やFIT後の廃棄PVモジュール適正リサイクル処分を推進します。

運転または建設中のプロジェクト

プロジェクト	商業運転日	発電規模	所在地
久米南メガソーラー発電所	2016年3月	32.3メガワット	岡山県
美作武蔵メガソーラー発電所	2016年7月	42.0メガワット	岡山県
細江メガソーラー発電所	2018年第2四半期(予定)	96.2メガワット	宮崎県
古川メガソーラー発電所	2016年12月	56.9メガワット	宮城県
作東メガソーラー発電所	2019年第3四半期(予定)	257.7メガワット	岡山県

上記に加えて、現在合計500MW超のメガソーラープロジェクトを開発しています。



久米南メガソーラー発電所



美作武蔵メガソーラー発電所



古川メガソーラー発電所



細江メガソーラー発電所

事業内容

- ・用地選定
- ・土地の使用に関する交渉及び契約
- ・接続申請/調査
- ・環境調査
- ・許認可
- ・設計業務・サイトエンジニアリング
- ・設備調査
- ・電力販売及び契約
- ・プロジェクト資金調査
- ・建設工事
- ・太陽光発電所運営
- ・アセットマネジメント

当社の強み

スピード

開発スピード: 社内標準化された開発プロセスと、各プロセスの完全外注化で、社内の陣容に制限されることなく開発スピードを維持できます。

意思決定: リスクが特定された段階で、意思決定及び社内決裁は全て即日可能です。

設計速度: 先行する欧米のレイアウトソフトを用い、複雑な地形での迅速なレイアウトが可能です。

資金調達力

プロジェクトファイナンス: プロジェクトファイナンスによって100億円超の資金調達が可能となります。

銀行: 既に日本有数の銀行と融資契約に向けた交渉を行っております。100億円規模の融資に対して1行のみでコミットメントできる銀行は限られます。また、プロジェクトファイナンスの経験・実績のある部署と直接協議しております。

経験: プロジェクトファイナンスに足る事業に仕立てるためにはデューデリジェンス(詳細検討)及び各種レポートが必要となります。また、銀行側の要求条件を念頭に置いた土地契約、特定接続契約、建設請負契約を締結しなければなりません。当社にはプロジェクトファイナンスの組成を経験した人員を取り揃え、各種契約条件協議を進めております。

発電規模の最大化

35%の勾配での架台設置: 海外製の特殊な架台を使用することで、最大15%の勾配を利用できます。これにより、設置可能面積を最大化することが可能です。

GCRの最大化: また、通常よりもアレイ(太陽光パネルの列)の間隔を狭めて設置することにより、単位面積当たりの設置量(GCR)を最大化。

72セル太陽光パネルの採用: 通常の60セルよりも大型の72セルモジュールを採用し、パネルの枠、パネル間の間隙などの無駄を低減します。

建設コストの低減

直接交渉: 太陽光パネル、インバーター、架台など主要機器については、施工会社に任せることなく、国内外のメーカーと直接交渉しています。それにより、中間マージンの縮小に成功しております。

造成設計: 現状図面のメッシュを50cmに細分化し、15%の勾配にスムージングすることにより造成土量を最小化します。

実績

日本での実績: 当社のメンバーは固定価格買取制度が開始される以前の2010年から日本において太陽光開発に従事しており、電力技術協議に精通しています。

開発案件: 既に岡山で32MW、42MW、宮崎で96MW宮城で57MWの太陽光発電所、計226MWについて資金調達の上、着工を開始しています。

海外での経験: 日本に先行して太陽光発電の普及が進んだ欧米、韓国で商業用の大型太陽光発電所の開発、建設、運営を実施したメンバーを揃えており、太陽光発電独自の課題、リスク及びそれに対する対処法に精通しています。